

循環型社会の形成に向けた取組の進展

第1次循環基本計画(平成15年)

国民に分かり易い循環型社会の具体的なイメージ
 資源生産性などの数値目標
 あらゆる主体が適正な役割分担のもと取組を推進

循環基本計画は循環基本法に基づき政府が定める循環型社会形成に関する基本計画であり、5年後程度を目途に見直しを行うこととされている。

国内における取組

最終処分場逼迫問題への対応
 3Rの技術・システムの強化

国際的な取組

我が国からの提唱である3Rイニシアティブの推進

第三次環境基本計画(平成18年)

「環境・経済・社会の統合的向上」 2050年を見据えたビジョンの策定を提示
 可能な限り定量的な目標・指標 各主体へのメッセージの明確化

環境立国戦略(平成19年)

アジアでの循環型社会構築に向けた取組 3Rの技術・システムの高度化
 3Rを通じた地球温暖化対策への貢献 3RイニシアティブのG8での推進

低炭素社会・自然共生社会に向けた取組との統合
 循環型社会の取組の更なる強化

資源価格高騰・需要増大への対応
 アジアを始めとする世界各国の循環型社会の構築

第2次循環基本計画(平成20年)

循環型社会と低炭素社会・自然共生社会への取組の統合
 地域再生にも寄与する「地域循環圏」の構築
 数値目標の拡充に加え、補助指標やモニタリング指標を導入
 各主体が連携・協働した3Rの取組
 3Rの技術とシステムの高度化
 国際的な循環型社会形成に向けた我が国の主導的な役割